



Schloss Kammer am Attersee - Gustav Klimt

## 神戸のBelvedere

景色の良い場所に居を構えることは、昔も今も、人々を魅了して止みません。イタリア語で“Belvedere”とは直訳で“美しい景色”ですが、一般的には“高台”を表しています。

高台から見渡す風景は、そこで過ごす人を特別な気持ちにさせるとともに、リラクゼーションをもたらします。もしそこに木々の緑や小川や湖の清らかな水があったら、気持ちもさらに潤うことでしょう。あわただしい日常からの距離の置き方として、ほんの少しBelvedereな場所で過ごすことが、暮らしにポジティブな影響を与えてくれることを期待します。

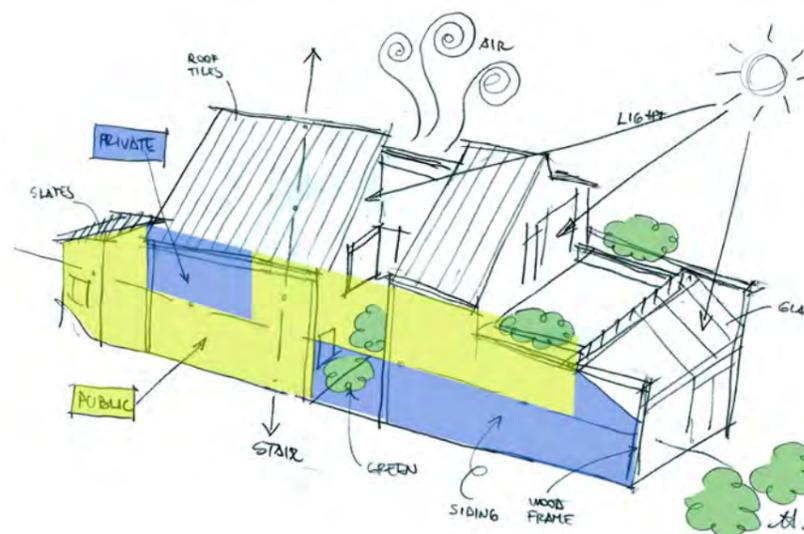
かつて故国を離れた外国人たちが海の見える高台に宅邸を構え、遙か遠くの故郷に思いを馳せたことから誕生した街です。日本の“Belvedere”はそんな人々に安らぎとひらめきを与え、に違いありません。今もなお、緑に包まれ神戸の海を望むこの地は住まう場所として素晴らしい環境を持ちつづけています。

私たちは、この地の特徴を素直に受け入れた空間を創り、暮らしに安らぎとひらめきを感じて頂きたいと思っています。



■Belvedere Palace / Wien

南北に長い建物に、南からの日差しを取り込むためには、複数の南面を意図的に作り出す必要があります。ダイニングの南面に配置された大きな窓と天窓からは、朝日がキラキラと暖かい光を落とし、気持ちの良い朝食を約束します。また、2階リビングスペースの窓は、セットバックして配置している為、1階ダイニングとはまた違った風景を切り取ります。さらに、ライトコートを設ける事で、浴室などプライベートな部分にも配慮し、ゆとりのある時間を確保しています。多種多様な南面を設ける事と、ゆとりの時間を得る事、この2つの要素を間取りのコンセプトにしています。



## キーワード

### ○ナチュラル（自然素材）

私たちは自然の素材の質感と色彩を大切に考えています。自然素材は、年を経るごとにその表情を豊かにしていきます。自然素材は、多くの緑・本当の自然とあいまって、様々なシチュエーションを豊かに演出してくれます。

### ○クリーンリネス（分かりやすく使いやすいこと）

部屋は、使い勝手に従って流れるように並ぶのが使いやすいでしょう。生活のシーケンスがそのまま部屋の配置になっているような住宅が、分かりやすく使いやすいと考えています。収納やサービス空間がしっかりしているべきだと考えます。ウォークイン・クローゼットや、物入れ、ロフト、ユーティリティルーム、などの豊かな収納・サービス空間を設け、本当に必要なスペースが常にすっきりと片付いている状態が、毎日の生活を便利で整然としたものにしてくれます。

### ○フレキシビリティ（柔軟性）

私たちは、将来の家族構成や生活スタイルの変化に対応できるフレキシビリティの高い住宅を提案します。プライベートスペースとパブリックスペースは、連続した空間により有機的につながります。住み手の生活スタイルの変化に対応して、柔軟に仕切り方を変えられるような空間をつくります。

### ○アーバンコンフォート（都市的快適性）

前庭は、メンテナンスの容易な玉石舗装で仕上げるなど、都市的な快適性を追求することも忘れてはなりません。限られた土地で豊かに暮らすために、住宅の屋上やテラスといった外部空間の緑化を考えます。植物たちにとっても、太陽に近いテラスで育つことが適切であるのは言うまでもありません。

## プロジェクトデータ

敷地面積： 287.1㎡ (87坪)  
建築面積： 84.0㎡ (25.4坪) = 29.2% < 60.0%  
延床面積： 128.5㎡ (38.9坪) = 44.6% < 100.0%  
施工床面積： 143.2㎡ (43.3坪)  
造規模： 木造2F建て



■ エントランス・アプローチ

玄関はお家の顔と言われてます。ドアを開くと、向かいの曲面の壁があり、反対側は柔らかい霧田気の塗り壁にガラスブロックをランダムに配置をされて、空間を広げています。通路は玄関と生活空間のワンクッションともなります。

■ ゲストルーム

1段下りておしゃれな洋室に入ります。ベアウィンドウ風な斜め壁、吹抜の天井、明るいピクチャーウィンドウの豊かなバランスを保った空間です。

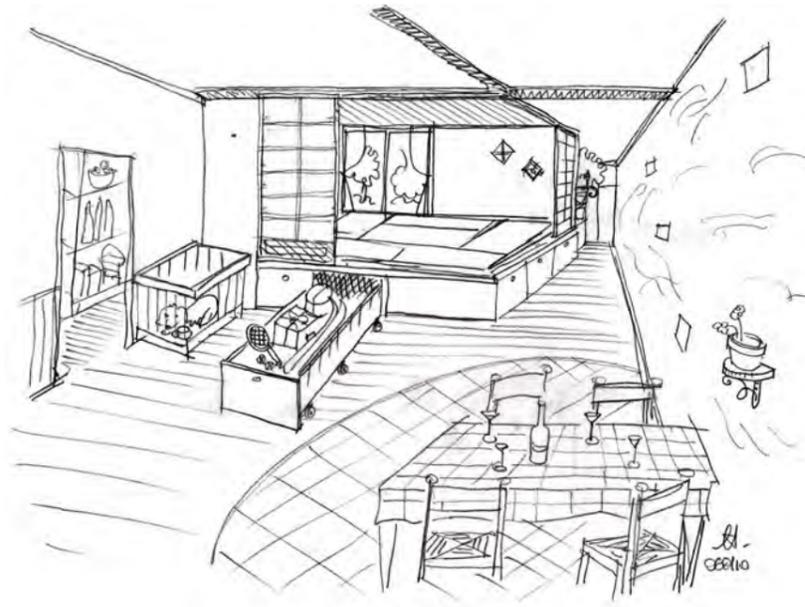
■ 様々な使い方ができる和室

この和室は、6畳ですが、ふすまを開け放せばダイニングの一部として利用することも可能なフレキシブルな空間です。床高さは、廻りから座りやすいように床から45cm上げており、この下の部分は大きなキャスター付きの引き出し収納として利用できるよう考えました。また、踏み石を介して中庭に出ることができるようになっています。



■ ハーブガーデン

部屋の中にグリーンがあると心もなごみます。それが香りや食材として日々意識できるなら、より意味のあるものになる事でしょう。この空間は内部と外部を繋ぎながら、生活を豊かにする空間です。



■ キッチン/家事室

造作キッチンがU型WORKSTATIONとしています。コンパクトで使いやすいキッチンであると同時に、親子が同時に調理できる広さをも確保しました。パントリーには小さなテーブルを設けて家事室を兼ねられるようにしています。軽い食事、さっと朝食をすませたい時などに使える、対面式のカウンターも設けました。

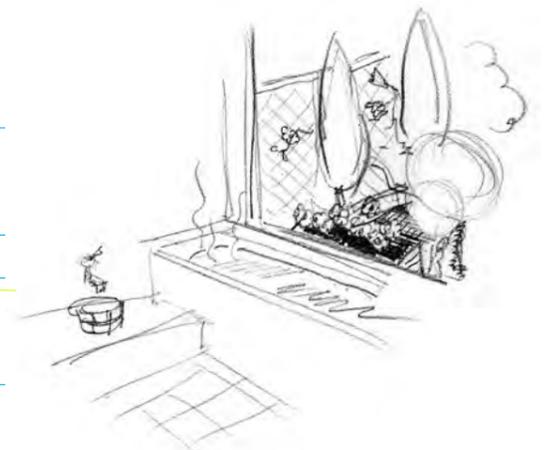


■ コンサバトリー風ダイニング

部屋に居ながらも屋外にいるような感覚は、英国生まれのコンサバトリーのイメージ。あるときは晴れ渡った空を、あるときはガラスに伝う雨だれを眺めるなど、贅沢な時間を過ごすことができます。また、日差しの強い日にはスクリーンをひいたり、爽やかな日にはドアをオープンにしてデッキと一体にするなど、柔軟性を持ち、家族と犬の集まる中心的なファミリールームでもあります。

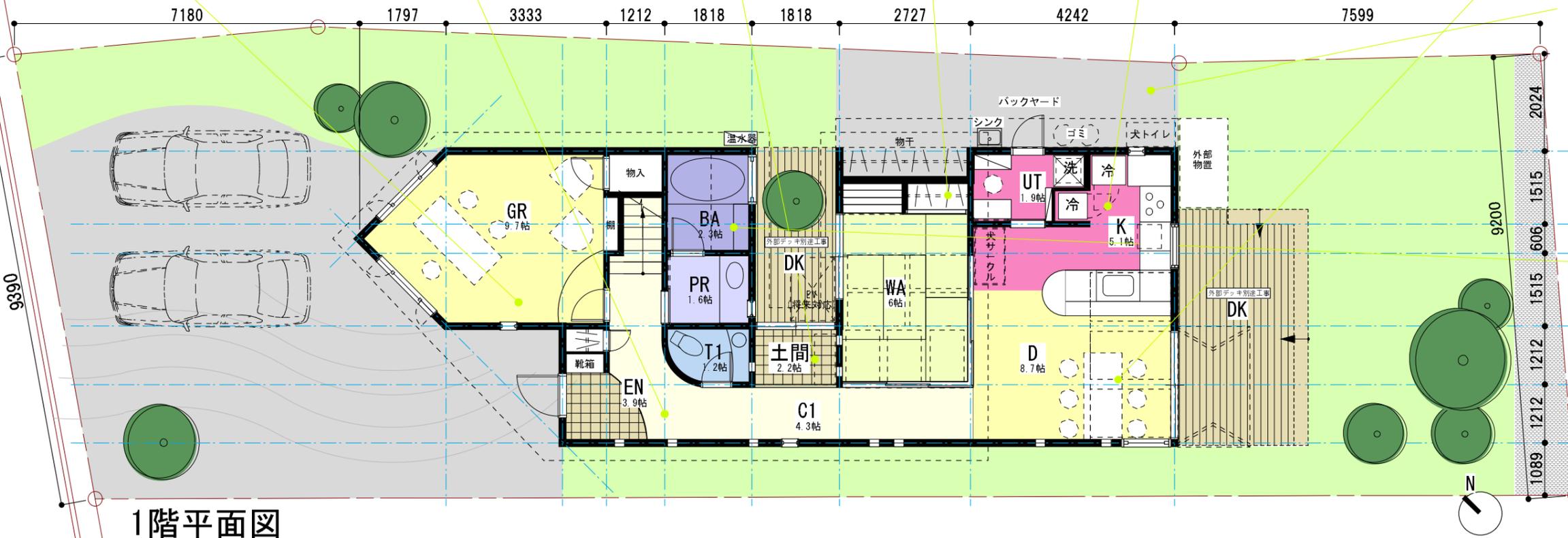
■ バックヤード

人の流れを意識した配置と、機能をまとめる事で使いやすく、目立たないバックヤードになります。物干も目立たない場所に設けました。



■ お庭が見えるバスルーム

バスタイムも緑を見ながらゆったりと過ごすことができます。庭には植栽を設けることによってプライバシーを確保し、自然に包まれた安心感のある空間となります。



1階平面図

床面積：80.9 m<sup>2</sup> (24.5坪)

SC= 1:100

■収納ゾーン

ミニキッチン+本棚+生活用アイテムを収納する為に十分な広さを持つスペース。ワインやリキュールがすぐに取り出せるサービスコーナーの役割を持たせます。

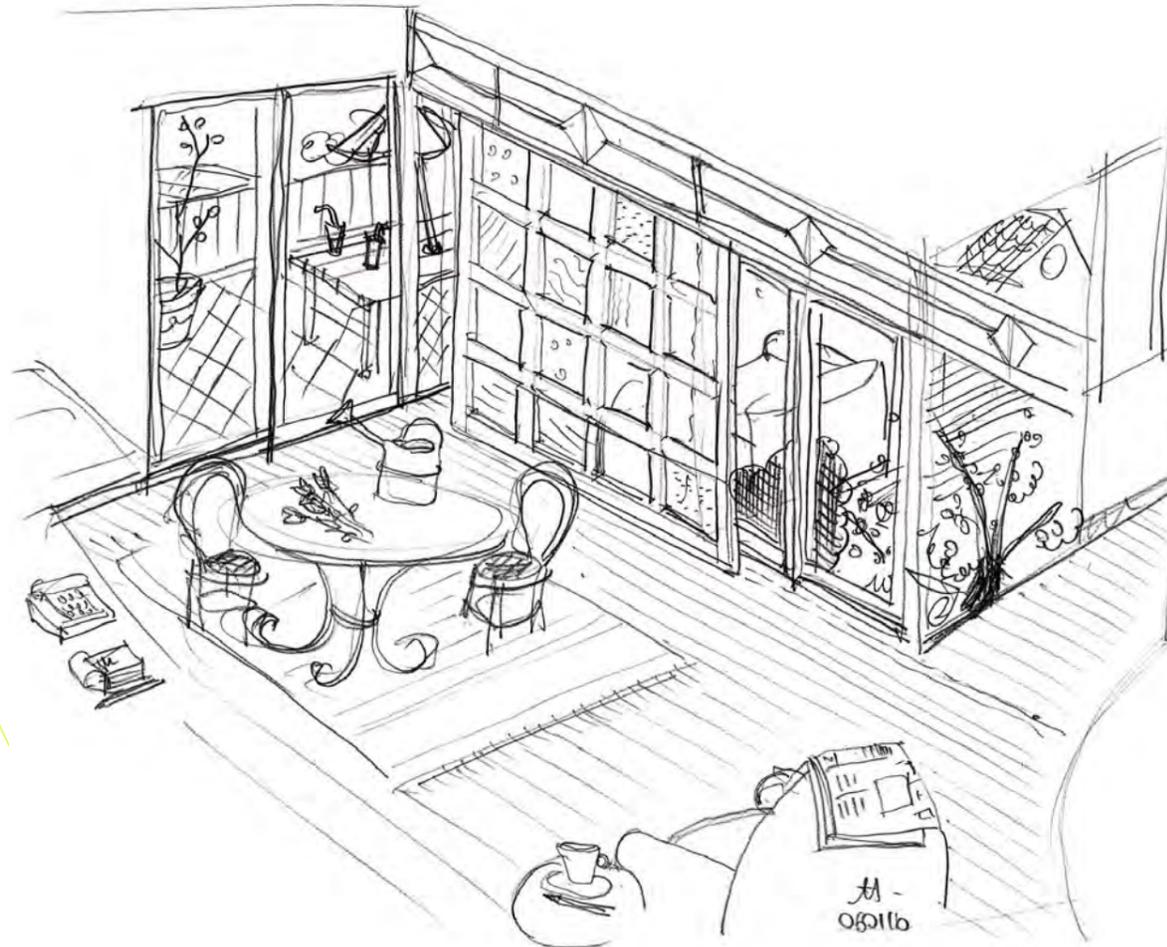
見せたくない部分には扉を付けるなど、シチュエーションにあわせたアレンジが可能な機能を持つ収納棚を配置します。



■主寝室

広々として明るい空間です。入り口に対面する丸窓は風景を切り取り、曲面の壁は、より空間を広く感じる事ができます。

曲線・曲面を効果的に使うことにより、居心地が良く、変化のある主寝室になります。



リビングスペース

階段を上ったところ、前面のFix窓越しに、中庭を通して、広々とした空間が見えて来ます。リビングはL字型、6mの間口でプライバシーを保っている緑っぱいのテラスに面しています。木+ガラスの可動パーティションの間仕切りによって、客用スペースとファミリーなスペースを仕切ることが出来ます。

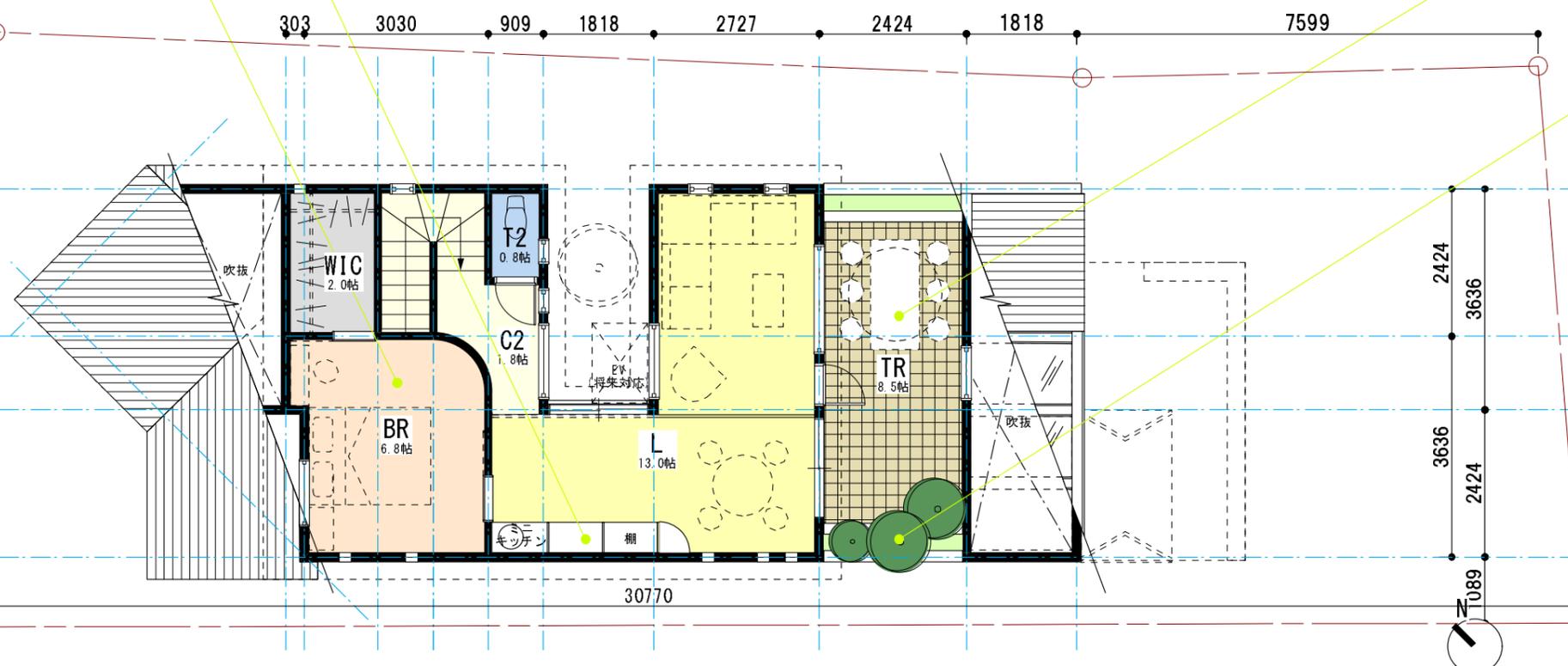


■オープンテラス

周囲から高くなった2階に設けられたテラスは、そこに立つ人を特別な存在に感じさせてくれます。ここはプライベートなパーティには十分な広さを持っています。ここから見渡す素晴らしい景色と美味しい食事は、オープンテラスで過ごす人々に、素晴らしいひとときを約束してくれることでしょう。

■ビルトインプランター

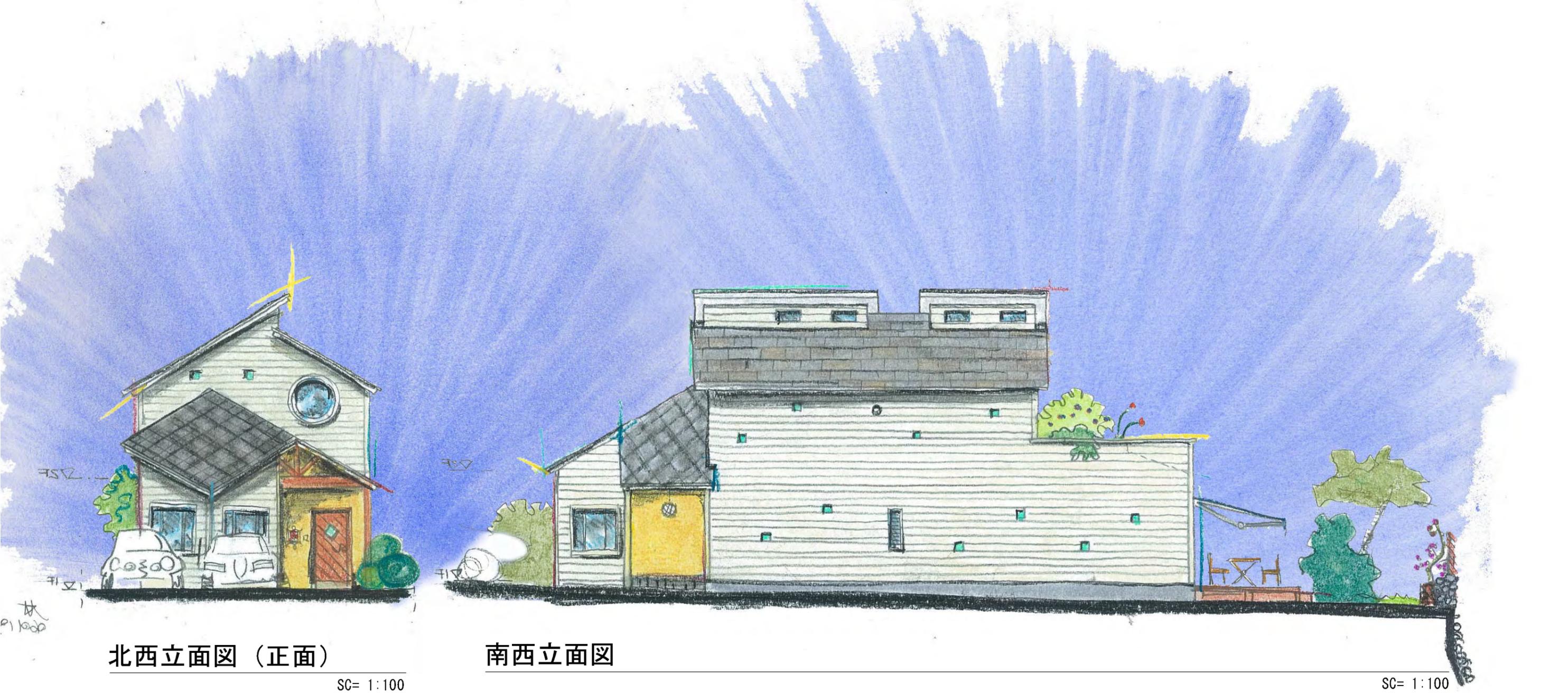
大きな樹木や、色とりどりの花を植えるための「手すりプランター」を用意します。手すりプランターの植栽は、建物の外側からも見え、建物の表情に彩りを与えてくれます。また、プライベートを守ることできます。



2階平面図

床面積 : 45.9 m<sup>2</sup> (13.9坪)

SC= 1:100



北西立面図（正面）

SC= 1:100

南西立面図

SC= 1:100



◎外壁は、北欧にある家の様に自然と調和し、優しい表情を醸し出します。



◎玄関周りの塗り壁は、暖かい雰囲気を作り出します。



◎屋根（正面）に使用する天然スレートは、優美な光沢があり、風格が香り立つ表情があります。

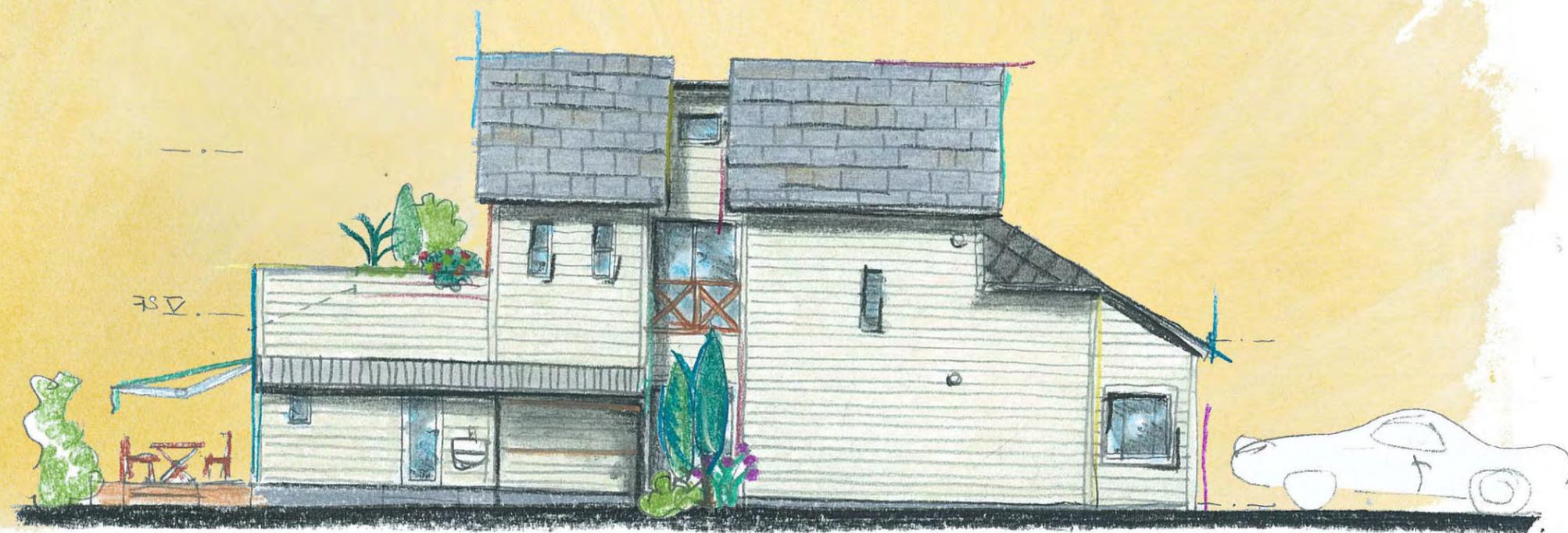
神戸市・Y邸計画  
立面図

SK3



南東立面図

SC= 1:100



北東立面図

SC= 1:100



◎ご近所にある立派な擁壁は、歴史を感じさせ周りの緑との調和を大事にします擁壁は一つの大事なデザインヒントです。



◎2階テラスから望む神戸の風景は、夢を見ている気分になります。